

第5回 再築基準検討委員会 議事録

記録日：平成28年2月12日

記録者：川上 幸生

団体名	一般社団法人住まい教育推進協会
開催日時	平成28年度2月12日（金） 15:00～17:00
開催場所	一般社団法人住まい教育推進協会会議室 東京都港区北青山2-7-26 フジビル28 9階
出席者 (順不同 敬称略)	委員長 古民家再生協会東京 杉本龍一 関東学院大学 建築・環境学部 中島正夫教授 日本長期住宅メンテナンス有限責任事業組合 南山和也 一般社団法人伝統素材伝承支援協会 鳥越宣宏 古民家再生協会東京会員 五十嵐冬人 一般社団法人古民家再生協会千葉市原支部 橋本武 一般社団法人伝統建築防腐防虫対策協会茨城支部 櫻村信一 一般社団法人住まい教育推進協会 川上幸生
議事	<p>委員長挨拶</p> <p>本日は4回の打ち合わせをもとにまとめた資料の確認となります。来週の全国会員大会での発表のために最後の詰めとなります。ご意見をお願いします。事務局製作の資料に基づき、委員長が各項目を説明、質疑を求めた。</p> <p>維持管理の流れについての確認事項として、古民家鑑定、床下インスペクションの実施を前提とし、床下インスペクションは毎年の実施が望ましい。</p> <p>電気設備に関することを参考として追加する。</p> <p>全国大会での発表の順番について確認 まず維持管理のために古民家で問題になる部位は基礎と屋根 平成25年度の再築基準の基準であるため古民家をすぐにその基準に満たすことはできない。今回の委員会で議論した現状に則した不具合事象について、インスペクションを実施し、改修を</p>

実施することで再築基準に近づけていく。

平成 25 年第 1 回の再築基準内容を元に、平成 27 年度の再築基準を考えた。（建築基準法を適用しない古民家を想定）

基礎・屋根について

↓

現状把握について

↓

再築基準について

↓

維持管理劣化対策等級の基準を目標にする

↓

メンテナンススケジュール

以上の流れで答申を行う（*詳細は別紙）

